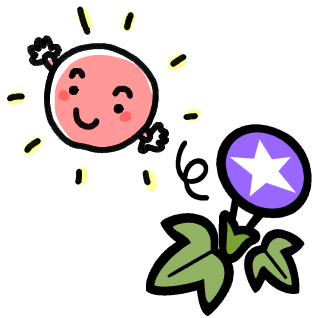




学校だより

おつひ

半田市立乙川東小学校

第4号

令和3年6月28日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう

『納得解』を見いだす力

＊『納得解』とは：答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら見いだす「目的に応じた解」

乙川東小では、毎月1回代表委員会が開かれています。参加メンバーは、3～6年生の学級委員と委員会委員長、そして児童会役員。乙川東小の代表が集まる総勢35名の会です。この代表委員会では毎回活発な話し合いが行われています。

第3回代表委員会では、『おつひギネスについて』『ペアでなぞとき大会』の2つの議題がありました。「おつトレは、遊んでいる場所でやっていいのですか？」「運動場の土の部分ならいいと思います。」「ポイントが集まったらどこにもっていけばいいですか？」「(少し考えて)決めなくてはいけないので、次の体育委員会で話し合ってお知らせします。」等、質問に答えながら計画がはっきりしたものに固まっていきます。参加者の誰もが、提案された案をより良いものにしたいと願い、質問や意見を出しています。みんなで『納得解』を見いだしているのです。



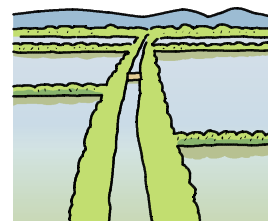
提案に対して意見を出す学級委員

私は、これからの時代を生きていく子どもたちにとって「納得解を見いだす力」は重要な力の1つだと思っています。違う意見をもった人に出会ったとき、その意見を否定することに力を注ぐのではなく、理解しようとする。そして、理解するために、疑問に思ったことを質問すること。その繰り返しのなかから、たくさんの違う意見が、みんなが納得する新たな意見にまとまっていく。その過程が、おつひの代表委員会の中で繰り返されているのです。素晴らしい！

自分の意見と違うからといって、背を向けたり打ち負かそうとしたりするのではなく、理解しようとする努力を惜しまず『納得解』を見いだす体験を様々な場面でさせていきたいと思っています。



5年生 米作り



毎年、5年生が総合的な学習で米作りに取り組んでいます。今年も、平地の天野さんの田んぼで、たくさんの地域ふれあい活動推進協議会の方々、市や県の職員の方、そして、保護者やおつひサポーターの皆さんのおかげで、6月15日に田植えを行うことができました。



田んぼの水の中にカブトエビを発見した子どもたちもいました。農薬を使わないのでたくさんの生き物がいます。そして、田んぼの隣には鶏小屋があって、鶏の抱っこ体験までできました。

今後、かかし作り・稲刈り・脱穀と米作り体験は進みます。稲の育ちと同時に、自然の移り変わりや環境、日本の食文化にも目を向ける機会にしたいです。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！